



けんひろで開こう  
学びの扉




令和7年4月

## 令和7年度 県立広島大学 公開講座 案内

県立広島大学地域基盤研究機構では、地域に開かれた大学として、地域の活性化に積極的に貢献していくために、産学官連携や学術広報、生涯学習の支援などを行っています。その一環として生涯学習分野で令和7年度に開講を予定している本学主催の公開講座及び学外組織との連携公開講座についてご案内します。

このパンフレットに掲載している各公開講座の受講者募集の案内は、開講日の約2ヶ月前に本学ホームページ（県立広島大学トップページ>地域連携センター>公開講座>令和7年度>各講座の参照 URL 及び募集チラシ）に掲載して、また関係機関で参加者募集チラシを配布して、お知らせします。

これらの公開講座の受講を希望される方は、本学ホームページの次の URL にアクセスして、各公開講座の開講日時、内容、申込方法等を確認してお申し込みください。

県立広島大学公開講座  検索



URL : <https://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/koukai-kouza/>

なお、本パンフレットの情報は発行時のものです。その後の止むを得ない事情により開講日時や申込締切日等が変更となることもあります。お申し込みにあたっては事前に本学ホームページ又はチラシの募集案内を参照してください。また、開講時には講師の所属・職名が異なることがありますのでご了承ください。

ご興味・ご関心のある公開講座の計画的な受講にお役に立ていただければ幸いです。

県立広島大学 地域基盤研究機構  
地域連携センター

<<目次>>

I	公開講座	
1.	広島地域連携センター開講講座	P.2
	主催講座	P.3
	連携講座（共催等）	P.6
2.	庄原地域連携センター開講講座	P.12
	主催講座	P.13
	連携講座（共催等）	P.14
3.	三原地域連携センター開講講座	P.16
	主催講座	P.17
	連携講座（共催等）	P.21
II	申込方法	
1.	広島地域連携センター開講講座	P.23
2.	庄原地域連携センター開講講座	P.24
3.	三原地域連携センター開講講座	P.25
III	台風等非常時における公開講座の中止等の対応について	P.26
IV	公開講座における新型コロナウイルス感染拡大予防の対応について	P.31
V	アクセス情報	P.32

# 広島地域連携センター開講講座

## 1 広島地域連携センター開講講座（主催講座）

No	講座名	ページ
☆01	高校生のための健康科学入門講座	3
☆02	応用情報学連続講座 -情報学で何ができるのか-	4
☆03	応用情報学連続ミニゼミナール -研究室で学ぶ応用情報学-	5

## 2 広島地域連携センター開講講座（連携講座）

No	講座名	ページ
04	レッツ・トライ・バンブークラフト!!（※小学生・中学生対象）	6
05	ひろしまを考える	7
06	世界を知る	8
07	読み切り文学講座	9
08	日本文化における視覚化・映像化	10
09	三島由紀夫の「本棚」-翻訳文学を中心に-	11

※ 講座番号に☆のついている講座は、高校生対象講座です。

講座名	高校生のための健康科学入門講座		
概要	<p>本学の健康科学コースは、「生体・運動」、「食品・栄養」、「健康管理」に関する多様な知識を総合的に学べ、真に豊かで健康な人間生活の実現を目指しています。本講座では、「生体・運動」分野から「スポーツの科学－健康づくりに必要な運動とは－」、「健康管理」分野から「公衆栄養学と管理栄養士の仕事」についてわかりやすく説明します。この講座で得られる知識を日常生活で役立てていただければ幸いです。また、進路選択の参考になることを期待します。(希望回のみ受講も可能です。)</p>		
日時	(1)8月27日(水) 18:30～19:30 (2)9月3日(水) 18:30～19:30		
内容	(1) 公衆栄養学と管理栄養士の仕事	森脇 弘子	
	<p>「公衆栄養学」って何だろう？ キーワードとなる言葉を紹介し、解説したいと思います。そして、QOL(生活の質)の向上を目指した公衆栄養活動やそのあり方についていっしょに考えてみましょう。また、公衆栄養学と関係の深い、管理栄養士の仕事について紹介します。</p>		
	(2) スポーツの科学－健康づくりに必要な運動とは－	辻 文	
	<p>「生活習慣病やメタボという言葉はよく耳にするけど、どういった病気のこと?」、「運動と何か関係があるの?」「自分でトレーニングを行う場合に、運動のきつさや時間はどのように設定すれば良いの?」このような疑問に答えられるように講義を展開していきます。運動の重要性やその効果、さらにはトレーニングの具体的な方法について学んでいきます。</p>		
会場	Zoom 開催	開講方法	リアルタイム配信
対象	高校生		
定員	50名	受講料	無料
申込方法	本学ホームページの参照 URL に掲載	申込締切	令和7年8月19日(火)
問合せ先	県立広島大学地域連携センター		
参照 URL	<a href="https://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/koukai-kouza/r0708270903.html">https://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/koukai-kouza/r0708270903.html</a>		

講座名	応用情報学連続講座－情報学で何ができるのか－		
概要	<p>「情報」は、水、電気、ガスなどの生活インフラについて重要な社会インフラの一つでと なっています。さらに、今後も情報学における成果は、ますます社会で活用されることは 間違いありません。本講座は、高校生を対象として、情報学分野の有用性を知ってもら うことを目的に、それぞれの話題を易しく解説します。今回は、「AI」、「データ分析」、「音 声認識」、「制御」についてのお話です。本講座は連続講座ですが、希望する講義のみの受 講もできます。</p>		
日時	(1)7月12日(土) (2)8月2日(土) (3)8月23日(土) (4)9月13日(土) 10:00～11:30		
内容	(1) AIの舞台裏～認識から創造まで～	陳 訓泉	
	<p>AIはどのようにして「学習」、ものを「認識」、さらには「創造」するのか？この講義では、デ ィープラーニングを中心としたAI技術が、データから知識を学習したり、物体を認識したり、 存在しないものを生み出したりする仕組みを説明します。また、身の回りでの応用事例や最新 の研究内容を通して、AIの可能性とその限界について紹介します。</p>		
	(2) 位置によって変わる「関係」のデータ分析	富田 哲治	
	<p>情報技術等の発展により、時間を経て何度も測定したり、測定した位置情報のついたデータを 収集したりできるようになってきました。時間や位置の情報を活用することで、新しい視点で データを分析する方法を開発することができます。ここでは、時間や位置によって変化する関 係を定量的に推定し、地図等によって可視化する分析法について事例を交えて紹介します。</p>		
	(3) 声や音の活用法を考えてみよう	折本 寿子	
	<p>音声認識が生活の中で使われるようになり、声で色々なことができるようになってきました。 そこで、私たちが聞いている、声や音にはどんな性質があるのかを知り、音声認識に必要な情 報は何かを学びます。そして、どんな計測器を使って、どんな音が取れ、どのように活用でき るのか実際に計測し、紹介します。</p>		
会場	広島キャンパス 1175 講義室	開講方法	対面
	対 象 高校生		
定員	40名	受講料	無料
申込方法	本学ホームページの参照 URL に掲載	申込締切	令和7年6月30日(月)
問合先	県立広島大学地域連携センター		
参照 URL	<a href="https://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/koukai-kouza/kouza070712.html">https://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/koukai-kouza/kouza070712.html</a>		

講座名	応用情報学連続ミニゼミナール - 研究室で学ぶ応用情報学-		
概要	本講座では、高校生に情報学の面白さを知ってもらうことを目的に、地域産業コースで応用情報学分野を担当している教員が、専門分野の最新の研究成果や最近の話題についてゼミ形式で説明します。授業は各教員の研究室で行います。いくつかのグループに分かれ少人数で行いますので、高校生の皆さん、ぜひ日頃の疑問を講師に直接聞いてみてください。		
日時	3月27日(金) 9:00~12:40		
内容	(1) グループ分け	重丸 伸二	
	少人数で講義を行うため、参加人数に応じてグループ分けを行います。どのグループになってもすべての講義を受講できます。		
	(2) ディープラーニングの産業応用	市村 匠	
	2024年のノーベル物理学賞に、人工知能(AI)の基盤技術を開発したホップフィールド教授とヒントン教授が選ばれたのは記憶に新しい。人工ニューラルネットワークの概念を確立してディープラーニングを開発した。ディープラーニングに関し、高精度の手法を独自に開発し、地域の産業に応用した研究について論文や特許をもとに紹介する。		
	(3) ファジィ制御入門	韓 虎剛	
	ファジィは曖昧のことを指します。ファジィ理論とは、「ちょうどいい」「なんとなく」「とても」などといった人間の主観的な思考や判断の曖昧さに数学的な枠組みを与えて、定量的に推論・処理するための数学理論です。本講座は、ファジィ理論を制御分野に応用したファジィ制御に関し、その基礎、現状及び将来について紹介します。		
	(4) ゲームプログラミングの進歩	佐々木 宣介	
	将棋や囲碁のような思考型ゲームをプレイするコンピュータプログラム(AI)は、AI研究のテーマの一つとして長年研究され、現在では人間の最強プレイヤーを超えるレベルまで強くなりました。将棋や囲碁などのゲーム AI がどのような仕組みで動き、どのように強くなってきたのかを解説します。		
(5) 質疑応答(研究室再訪問時間・自由参加)	市村 匠、韓 虎剛、 佐々木 宣介		
講座の時間内に聞けなかったことやさらに詳しく聞きたいこと、授業終了後に浮かんだ疑問などがあれば、各研究室を再訪問して講師に直接聞くことができます。自由参加です。			
会場	広島キャンパス	開講方法	対面
対象	高校生		
定員	15名	受講料	無料
申込方法	本学ホームページの参照 URL に掲載	申込締切	令和7年3月13日(金)
問合せ先	県立広島大学地域連携センター		
参照 URL	県立広島大学トップページ>地域連携センター>公開講座>令和7年度 URLは、受講者募集開始時(開催日の約2ヶ月前)に開設予定。		

講座名	レッツ・トライ・バンブークラフト !! ～竹を身近に感じる生活雑貨作り～ (楠那公民館)		
概要	古来より人々のくらしになじみのある竹。その生態や活用がいま再び見直されています。ものづくりの楽しさを味わいながら、竹のことをもっとよく知り考えてみませんか。		
日時	(1)5月24日(土) (2)6月28日(土) 14:00～16:00		
内容	(1) 竹林のお話しと黄金山の竹を使った生活雑貨作り① 一輪挿し	荻田信二郎	
	竹林のお話を聞いた後、黄金山の竹を使った「一輪挿し」を作ります。参加者には、黄金山の竹を使った「特製タグキーリング」をプレゼントします。		
	(2) 竹林のお話しと竹を身近に感じる生活雑貨作り② ペーパーナイフ	荻田信二郎	
	竹林のお話を聞いた後、黄金山の竹を使った「ペーパーナイフ」を作ります。参加者には、黄金山の竹を使った「特製タグキーリング」をプレゼントします。		
会場	楠那公民館 3階大集会室	開講方法	対面
対象	小・中学生 (小学生は保護者同伴)		
定員	各回 20名	受講料	無料
申込方法	本学ホームページの参照 URL に掲載 または楠那公民館へ直接連絡	申込締切	定員になり次第終了
問合せ先	県立広島大学地域連携センター		
参照 URL	<a href="https://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/koukai-kouza/kouza0705240628.html">https://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/koukai-kouza/kouza0705240628.html</a>		

講座名	ひろしまを考える（広島市立大学）		
概要	県立広島大学・広島市立大学の卒業生で、起業した方々をお招きし、起業した経緯、苦悩、やりがいなどをご紹介します。（※詳細は調整中。）		
日時	(1)7月15日（火） (2)7月22日（火） 18:30～20:00		
内容	(1) 調整中	(株)ナッカサン 仲 正人氏	
	調整中		
	(2) 調整中	下村木エデザイン 下村 祐介氏	
	調整中		
会場	広島キャンパス 1175 講義室	開講方法	対面+オンライン配信
対象	高校生・一般の方		
定員	対面 40 名・オンライン 60 名	受講料	無料
申込方法	本学ホームページの参照 URL に掲載	申込締切	令和 7 年 6 月 30 日（月）
問合せ先	県立広島大学地域連携センター		
参照 URL	県立広島大学トップページ>地域連携センター>公開講座>令和 7 年度 URL は、受講者募集開始時（開催日の約 2 ヶ月前）に開設予定。		

講座名	世界を知る（広島市立大学）		
概要	調整中		
日時	10月頃		
内容	(1) 調整中		
	調整中		
	(2) 調整中		
	調整中		
会場	広島市立大学サテライトキャンパス	開講方法	対面+オンライン配信
対象	高校生・一般の方		
定員	対面 40名・オンライン 60名	受講料	無料
申込方法	本学ホームページの参照 URL に掲載	申込締切	
問合せ先	県立広島大学地域連携センター		
参照 URL	県立広島大学トップページ>地域連携センター>公開講座>令和7年度 URL は、受講者募集開始時（開催日の約2ヶ月前）に開設予定。		

講座名	読み切り文学講座（南区図書館）		
概要	活字離れが進む中、じっくりと一冊の書物と向き合う時間を持つことも難しくなりました。書物に親しみ、文学の魅力に触れ、改めて文字やことばの持つちから、読書の醍醐味を思い起こしてみませんか。		
日時	(1)10月17日（金） (2)10月24日（金） 10:00～11:30		
内容	(1) ノーマン・マクリーン『マクリーンの川』を読む	栗原 武士	
	「私たちの家族では、宗教とフライ・フィッシングのあいだに、はっきりとした境界線はなかった」という書き出しから始まる『マクリーンの川』は、アメリカの大自然を舞台とした「釣り文学」の決定版であると同時に、家族と伝統の物語でもあります。本講義では「リバー・ランズ・スルー・イット」というタイトルで映画化もされたこの作品を、みなさんと一緒にじっくりと読み込んでみたいと思います。		
	(2) 三島由紀夫『潮騒』を「読む」－「小説」の奥行－	福田 涼	
	これまで五度にわたって実写映画化されてきた『潮騒』（1954年）は、少年少女の素朴な恋愛を描く、「分かりやすい物語」として認識されてきました。しかし本作の細部、とくにヒロインである初江に関する記述を注意深く辿ってゆくと、従来の認識とは全く異なる、「奥深い小説」としての側面が浮き彫りとなります。「小説」を「読む」ことの喜びを、ともに体験しませんか？		
会場	南区図書館 南区民文化センター3階 大会議室 A	開講方法	対面
対象	文学・読書に興味をお持ちの方		
定員	40名	受講料	無料
申込方法	本学ホームページの参照 URL に掲載 または南区図書館へ直接連絡	申込締切	調整中
問合せ先	県立広島大学地域連携センター		
参照 URL	県立広島大学トップページ>地域連携センター>公開講座>令和7年度 URL は、受講者募集開始時（開催日の約2ヶ月前）に開設予定。		

講座名	日本文化における視覚化・映像化（広島県立図書館・文書資料館）		
概要	日本人は文字や口承で語られた世界観を、演劇・絵画などで視覚化し、具体化して表象してきました。絵巻などはその代表格です。絵巻には動きも表現されており、現代の漫画やアニメにもつながるメディアと言えるでしょう。本講座では、日本文化において、物語がいかに視覚化・映像化して親しまれてきたかを、古典文学・近現代文学の視点から深掘りしていきます。		
日時	(1)7月17日(木) (2)7月24日(木) (3)7月25日(金) 10:15~12:00		
内容	(1) チャンバラの原点—〈技〉の文化史—	目黒 将史	
	主人公が敵役と刀で大立ち回りを演じる。このような物語はいつ頃から語られるのでしょうか。また、現代の漫画に描かれる「必殺技」は、いつの時代からあるのでしょうか。実は『平家物語』にはすでに〈技〉を用いた、芸能化した戦いが描かれています。そして室町時代の物語草子になると、さらなる〈技〉表現が垣間見られるようになってきます。本講座では、現代の活劇や漫画につながる〈技〉の文化史を追っていきます。		
	(2) 『平成狸合戦ぽんぽこ』から文化継承を紐解く	目黒 将史	
	高畑勲監督『平成狸合戦ぽんぽこ』は都市開発に反対する狸たちをコミカルに描いたアニメです。この作品には、『平家物語』「扇の的」を再現した場面や『百鬼夜行絵巻』などをもとにした「妖怪大作戦」が描かれています。これは、高畑勲が古典の物語を、現代の文化として甦らせたと言ってよいものです。本講座では、古典文芸・絵画から『平成狸合戦ぽんぽこ』に至る、文化継承を紐解きたいと思います。		
	(3) 「物語」が生まれるとき—『かぐや姫の物語』を「読む」—	福田 涼	
高畑勲による長篇アニメーション映画『かぐや姫の物語』(スタジオジブリ、2013年)を、「アニメーション」や「物語」に対する「メタ批評」として読み解きます。具体的には、原典である『竹取物語』や、加藤道夫の詩劇『なよたけ』(1946年)等の先行作品も視野に入れつつ分析を施すことで、本作が「人のなさけ」と「物語」との関係をどのように描き出しているかを浮き彫りにします。			
会場	広島県立文書館研修・会議室	開講方法	対面
対象	日本の歴史や文化に関心をもつ方		
定員	30名	受講料	無料
申込方法	本学ホームページの参照 URL に掲載	申込締切	6月30日(月)
問合せ先	県立広島大学地域連携センター		
参照 URL	<a href="https://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/koukai-kouza/r0707172425nihonbunka.html">https://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/koukai-kouza/r0707172425nihonbunka.html</a>		

講座名	三島由紀夫の「本棚」-翻訳文学を中心に-（宇品公民館）		
概要	昭和期を代表する作家の一人・三島由紀夫（1925-1970）の代表作を、彼の「本棚」（=蔵書）に注目しながら読み解きます。生前には2度にわたってノーベル文学賞の候補に挙げられ、その「天才」ぶりが強調されることも多い三島ですが、その文業は、古今東西の「名作」を「読む」という体験に強く支えられていました。本講座では、こうした三島の「読書体験」と「創作行為」との関係に着目しながら『仮面の告白』と『春の雪』の2篇を読み直すことで、これらの小説の成立基盤や魅力を明らかにします。		
日時	(1)11月28日（金）(2)12月5日（金）10:30～12:00		
内容	(1) 『仮面の告白』の成立基盤	福田 涼	
	三島由紀夫の出世作『仮面の告白』（1949年）では、外国文学からの夥しい数の引用が行われています。本講座では、三島の蔵書に含まれる幾つかの書物を参照しながら、『仮面の告白』の成立基盤と、本作の時代的意義を浮き彫りにします。		
	(2) 「姦通小説」としての『春の雪』	福田 涼	
	これまで『浜松中納言物語』や『源氏物語』といった「王朝文学」からの影響が色濃く反映された小説として読まれてきた『春の雪』（『豊饒の海』第1巻、1965-1967年）を、フローベール『ボヴァリー夫人』やラディゲ『肉体の悪魔』といった西洋の「姦通小説」からの影響を踏まえて読み直すことで、本作の「小説」としての仕掛けに迫ります。		
会場	宇品公民館	開講方法	対面
対象	日本の近代文学や三島由紀夫に興味がある方		
定員	25名	受講料	無料
申込方法	本学ホームページの参照URLに掲載	申込締切	調整中
問合せ先	県立広島大学地域連携センター		
参照URL	県立広島大学トップページ>地域連携センター>公開講座>令和7年度 URLは、受講者募集開始時（開催日の約2ヶ月前）に開設予定。		

# 庄原地域連携センター開講講座

## 1 庄原地域連携センター開講講座（主催講座）

No	講座名	ページ
☆01	遺伝子解析	13
02	庄原地域連携センター主催公開講座（仮）※講座内容調整中。	14

## 2 庄原地域連携センター開講講座（連携講座）

No	講座名	ページ
03	庄原市民公開講座（前期）（仮）※講座内容調整中。	15

※ 講座番号に☆のついている講座は、高校生対象講座です。

講座名	遺伝子解析		
概要	<p>高校生や生物学の担当教員等を対象とした実験講座です。PCR（ポリメラーゼ連鎖反応）は DNA を扱う技術の一つであり、新型コロナウイルスの診断をはじめとする医療現場や犯罪捜査など様々な場面で利用されています。本実験講座では、参加者が自らの口腔粘膜細胞から DNA を抽出し、PCR を利用して 2 型アルデヒド脱水素酵素遺伝子のタイプを調べる実験を行います。</p>		
日時	8 月頃		
内容	(1) DNA の抽出と PCR 実験	松崎 秀紀	
	<p>2 型アルデヒド脱水素酵素はお酒に含まれるアルコールの代謝過程で働く酵素です。日本人では遺伝子のタイプによりこの酵素の働きが強い人と弱い人がいます。この講座では参加者が自分の毛髪などから DNA を抽出し、PCR を用いて 2 型アルデヒド脱水素酵素の遺伝子のタイプを調べます。</p>		
会場	庄原キャンパス 5111 実験室	開講方法	対面
対象	<p>遺伝子の働きやその解析方法に興味のある高校生 高等学校で生物学を担当する教員</p>		
定員	15 名	受講料	無料
申込方法	本学ホームページの参照 URL に掲載	申込締切	調整中
問合せ先	県立広島大学庄原地域連携センター		
参照 URL	<p>県立広島大学トップページ&gt;地域連携センター&gt;公開講座&gt;令和 7 年度 URL は、受講者募集開始時（開催日の約 2 ヶ月前）に開設予定。</p>		
備考			

講座名	庄原地域連携センター主催公開講座（仮）		
概要	調整中		
日時	調整中		
内容	(1) 調整中	調整中	
会場		開講方法	
対象			
定員	名	受講料	
申込方法	本学ホームページの参照 URL に掲載	申込締切	
問合せ先	県立広島大学庄原地域連携センター		
参照 URL	県立広島大学トップページ＞地域連携センター＞公開講座＞令和 7 年度 URL は、受講者募集開始時（開催日の約 2 ヶ月前）に開設予定。		
備考			

講座名	庄原市民公開講座（前期）（仮）		
概要	調整中		
日時	7月頃 週1回 全3～4回を予定		
内容	(1) 調整中	調整中	
	調整中		
会場	庄原キャンパス 1201 講義室	開講方法	対面
対象	庄原市に居住、もしくは通学・通勤する人。		
定員	30名	受講料	無料
申込方法	本学ホームページの参照 URL に掲載	申込締切	
問合せ先	県立広島大学庄原地域連携センター		
参照 URL	県立広島大学トップページ>地域連携センター>公開講座>令和7年度 URL は、受講者募集開始時（開催日の約2ヶ月前）に開設予定。		
備考			

# 三原地域連携センター開講講座

## 1 三原地域連携センター開講講座（主催講座）

No	講座名	ページ
01	明日からととのう！アンチエイジング	17
02	メンタルヘルスのためのストレスケア講座	18
03	高齢者に生じるコミュニケーション障害の理解とその支援 ～コミュニケーションを楽しむために～	19
04	医療処置を受ける子どもと家族の小児看護リフレクション講座	20

## 2 三原地域連携センター開講講座（連携講座）

No	講座名	ページ
05	第12回海浜健康講座_概論編と実践編 (さぎしまを愛するボランティアガイドとの連携講座)	21
06	女性の健康セミナー ～更年期以降を健康美人に過ごす～（後援：三原市）	22

講座名	明日からととのう！アンチエイジング		
概要	本講座では、当附属診療センターで行っている診療やリハビリテーションについて紹介します。今回は、アンチエイジングを中心に、「聞こえ」「腰痛」「骨」について、知っておきたいことや、今からすぐにできることをレクチャーします。明日への健康に役立つお話をさせていただきます。皆様、ととのいましょう！		
日時	6月21日（土）10:00～11:20		
内容	(1) 耳を「ととのう」ために出来ること	言語聴覚士 今川 記恵 先生	
	年齢を重ねると生じやすい聞こえにくさ。実は10代の若者にとっても無関係ではありません。生活習慣、食事でも耳を「ととのう」ことは出来るのでしょうか？最新の研究から一緒に考えてみましょう。		
	(2) 腰痛予防・改善のためのケア&トレーニング	理学療法士 大古場 良太 先生	
	国民病ともいわれ、約8割の方が何らかの腰痛の経験があるといわれています。本講座では、腰痛となる原因を様々な視点からレクチャーし、腰痛予防・改善に効果的な方法を姿勢や運動といったトピックから解説したいと思います。		
	(3) 減骨をおさえ、コツコツ貯骨	放射線技師 飯田 忠行 先生	
	骨の減少は、なかなか気づくことができません。骨の状態は、どのような方法で知ることができるのか？また、骨粗しょう症とはどんな病気を概説します。その上で、予防策を運動や栄養面よりお話しします。		
会場	ZOOM 開催	開講方法	リアルタイム配信
対象	アンチエイジングに興味のある方		
定員	50名	受講料	無料
申込方法	本学ホームページの下記 URL に掲載	申込締切	令和7年6月6日(金)
問合せ先	県立広島大学三原地域連携センター		
参照 URL	<a href="https://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/koukai-kouza/2025m-kouza02.html">https://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/koukai-kouza/2025m-kouza02.html</a>		

講座名	メンタルヘルスのためのストレスケア講座		
概要	近年注目されている心の健康という問題に、講義「ストレスとこころ」や「シアターゲーム」という演劇の手法や「プレイバックシアター」と言う即興劇、「マインドフルネス」と言う瞑想などの実技を通じて自分の心をケアする方法について学んでいきます。		
日時	(1) 8月30日(土) 9:30~12:30      (3) 9月27日(土) 9:30~12:30 (2) 9月13日(土) 9:30~12:30      (4) 10月18日(土) 9:30~12:30		
内容	(1) シアターゲーム	吉川 ひろみ、古山 千佳子、高木 雅之	
	グループで行う「シアターゲーム」という言葉や身体を使った即興的な遊びを通じて、普段の自分から離れるとともに、オープンさと創造性にあふれる雰囲気を経験します。		
	(2) マインドフルネス	織田 靖史	
	精神療法にも取り入れられて注目されているマインドフルネス瞑想について講義及び体験を通して学びます。一部、作業(すること)の中にあるマインドフルネス要素に着目したマインドフルネス作業療法(MBOT)についても体験する予定です。		
	(3) ストレスとこころ(認知行動療法的視点からのストレスケア)	藤巻 康一郎、今元 佑輔	
	ストレスとこころの関係やストレスにつながる考え方(認知:物事の捉え方)の特徴など精神科医である講師から概論について講義形式にて説明します。(藤巻) ストレスにつながる考え方(認知)と具体的なすること(行動)の両面からストレスケアについて考え、気分が変わる生活習慣、明日から使えるリラクゼーション方法について学びます。(今元)		
	(4) プレイバックシアター	吉川 ひろみ、古山 千佳子、高木 雅之	
プレイバックシアターは、個人の経験(ストーリー)を語り、演じるもので、リスニングアワーは、ストーリーを語り、聞くものです。ストーリーを通じた体験を通して得られるオープンさと創造性がストレスケアにつながります。また、シアターゲームも体験し、遊びがもたらすオープンさと創造性にあふれる雰囲気を経験します。			
会場	三原キャンパス(4102室・4101室)	開講方法	対面
対象	守秘義務のある医療従事者		
定員	30名	受講料	3,000円
申込方法	本学ホームページの下記URLに掲載	申込締切	令和7年8月8日(金)
問合せ先	県立広島大学三原地域連携センター		
参照URL	<a href="https://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/koukai-kouza/2025m-kouza03.html">https://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/koukai-kouza/2025m-kouza03.html</a>		

講座名	高齢者に生じるコミュニケーション障害の理解とその支援 ～コミュニケーションを楽しむために～		
概要	<p>歳を重ねると聴力の低下や認知症などにより、コミュニケーションをとりにくくなることが増えてきます。また、脳卒中などではその後遺症として、構音障害や失語症などが残ることも少なくありません。これらの言語聴覚障害のある方とのコミュニケーションを楽しむためには、コミュニケーションをとる相手のコミュニケーションスキルが大きく影響します。</p> <p>本講座では言語聴覚士の視点から、これらの言語聴覚障害が生じる原因を理解し、少しでもコミュニケーションを楽しめるようになるためのポイントを、演習も取り入れながらお伝えできればと考えています。</p>		
日時	9月11日(木) 10:30～15:30		
内容	(1) 高齢者に生じるコミュニケーション障害とその支援 ～原因と言語聴覚士の支援の視点～	坊岡 峰子	
	コミュニケーション障害・言語障害を生じさせる原因となる疾患などについての概要を説明します。また、言語聴覚士の専門性と支援の視点を解説します。		
	(2) 高齢者に生じるコミュニケーションの障害とその支援 ～聴覚障害～	長谷川 純	
	きこえに関して、耳の構造や聴力を理解するための基本的な解説を行います。そして、高齢者のきこえについての特徴と、コミュニケーションを支援する方法などについて講義および演習を行います。		
	(3) 高齢者に生じるコミュニケーションの障害とその支援 ～構音障害～	小澤 由嗣、中村 文	
	構音障害の原因や発話症状について解説します。そして、症状にあわせてコミュニケーションを支援する方法について具体的に説明し、演習で支援方法を確認します。		
	(4) 高齢者に生じるコミュニケーションの障害とその支援 ～失語症・認知症～	津田 哲也、坊岡 峰子	
会場	三原キャンパス (4103 室)	開講方法	対面
対象	何らかのコミュニケーション障害のある方とのコミュニケーション方法に関心のある、保健・福祉・医療の専門職およびご家族・ボランティア。		
定員	20名	受講料	1,000円
申込方法	本学ホームページの下記 URL に掲載	申込締切	令和7年8月25日(月)
問合せ先	県立広島大学三原地域連携センター		
参照 URL	<a href="https://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/koukai-kouza/2025m-kouza04.html">https://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/koukai-kouza/2025m-kouza04.html</a>		

講座名	医療処置を受ける子どもと家族の小児看護リフレクション講座		
概要	近年では小児診療科の拠点病院化や混合病棟の増加、入院期間の短縮化に伴う地域診療の増加により、多様な看護経験をもつ看護師が小児看護を行う機会が増えています。 この講座では、自身のリフレクションと小児看護ケアモデルを活用した日頃の実践のリフレクション（振り返り）を通して、子どもや家族の尊厳を守りながら子どもの力が主体的に発揮できる基本的な看護実践のヒントを得る機会を提供したいと思います。		
日時	10月9日（木）13:30～15:30 【オンデマンド配信期間：10月10日（金）～10月31日（金）23時59分まで】		
内容	(1) 小児看護ケアモデルの基本的知識とリフレクションの実際	松森 直美	
	リフレクションの基本的な知識と小児看護ケアモデルの内容、活用方法を理解し、日頃行っている子どもと家族への基本的な看護実践のポイントを学びます。 Google オンラインフォームを活用し、具体的な実践例を参加者で共有しながら、日ごろの看護実践を振り返り、子どもや家族の反応、事象のとらえ方のヒントを提案します。		
会場	Zoom 開催	開講方法	リアルタイム配信 (※後日、オンデマンドで配信)
対象	小児病棟・外来・診療所等に勤務する看護職者		
定員	20名	受講料	3,000円
申込方法	本学ホームページの下記 URL に掲載	申込締切	令和7年9月12日(金)
問合せ先	県立広島大学三原地域連携センター		
参照 URL	<a href="https://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/koukai-kouza/2025m-kouza06.html">https://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/koukai-kouza/2025m-kouza06.html</a>		

講座名	第12回海浜健康講座_概論編と実践編 (さぎしまを愛するボランティアガイドとの連携講座)		
概要	海浜環境を利用して心身の健康維持・増進、疾病の予防を図る目的で考案された海浜セラピーの解説とそのガイドの養成を目的とした講義内容です。科学的な検証の過程で得られた海浜セラピー効果の紹介だけでなく、健康増進に関心のある方にも有益な内容となっています。なお概論編と実践編(1コマ約60分の計4コマ)の受講をお勧めします。		
日時	(1)6月7日(土) 9:30~10:30 (3)6月14日(土) 9:30~10:30 (2)6月7日(土) 10:40~11:40 (4)6月14日(土) 10:40~11:40		
内容	(1) 海浜健康講座_概論編「自然を楽しむ」	大塚 彰 (県立広島大学名誉教授)	
	各種自然を楽しむセラピーの紹介と海浜セラピー概論について解説します。		
	(2) 海浜健康講座_概論編「心身チェック」	田中 聡	
	心身チェックに関わる内容を体力編とストレス編に分けて解説します。		
	(3) 海浜健康講座_実践編「環境条件と健康増進」	金井 秀作	
	海浜セラピーを実践する上で必要な環境の認定条件と健康増進のための実践内容を解説します。		
	(4) 海浜健康講座_実践編「けが予防」	岡村 和典	
海浜セラピーのような自然環境での運動におけるケガの予防と安全管理を解説します。			
会場	Zoom 開催	開講方法	リアルタイム配信
対象	18歳以上の方 海浜セラピー・健康増進に関心がある方		
定員	10名程度	受講料	無料
申込方法	本学ホームページの下記 URL に掲載	申込締切	令和7年5月28日(水)
問合せ先	県立広島大学三原地域連携センター		
参照 URL	<a href="https://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/koukai-kouza/2025m-kouza01.html">https://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/koukai-kouza/2025m-kouza01.html</a>		

講座名	女性の健康セミナー ～更年期以降を健康美人に過ごす～（後援：三原市）		
概要	わが国では、超高齢社会を迎える中、高齢者個人が健康で幸福感あふれる老後をいかに過ごせるかに大きな関心が寄せられています。一方、40歳を過ぎた頃から「不定愁訴」といわれる「疲れが取れない、なんとなく体調が悪い」などを感じる人も多いのではないのでしょうか。人生のターニングポイントであるこの時期を、快適に過ごすためにも、ご自身の心と身体の変化を理解し、健康で暮らすためのセルフケア能力を高めませんか？我々は、皆様が、将来、少しでも要介護生活にならないよう、健康寿命の延伸を目指し、皆様の健康をサポートします。		
日時	9月13日（土）10:00～12:00		
内容	(1) 女性の健康セミナー ～更年期以降を健康美人に過ごす～	奥山葉子・飯田忠行・金川景子・村上杏里・助産学専攻科学生	
	基本的知識として、女性のライフステージに沿った心と身体の変化などを解説します。更年期以降を自分らしく、健康で快適に過ごすためのセルフケア方法を紹介していきます。さらに、自らの骨の状態を知り（希望者に骨密度測定を実施します）、更年期以降の女性の身体の変化の一つ、なぜ骨粗しょう症になるのかを解説します。そして、骨によい食事や運動を、なぜ骨によいのかを具体的にお伝えします。将来、骨粗しょう症にならないためにも、早期発見、そして、その前段階での骨粗しょう症の予防にお役立てできるような生活習慣を紹介していきます。		
会場	三原キャンパス 4301	開講方法	対面
対象	40～60歳台女性		
定員	20名	受講料	無料
申込方法	本学ホームページの下記 URL に掲載	申込締切	令和7年9月3日(水)
問合せ先	県立広島大学三原地域連携センター		
参照 URL	<a href="https://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/koukai-kouza/2025m-kouza05.html">https://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/koukai-kouza/2025m-kouza05.html</a>		

## 《申込方法：広島地域連携センター開講講座》

### 1. 申込先が本学の場合

各公開講座の案内に従ってWEB申込または郵便申込のいずれかでお申し込みください。郵便申込の場合、郵便の往復に日数がかかるため、申込締切がWEB申込より早い場合があります。

#### (1) WEB申込

本学ホームページに掲載されている公開講座の案内の「申込方法」に、「申込フォーム」のURL及びQRコードがありますので、アクセスして申込フォームに入力して申し込んでください。

申込締切後、無料講座の場合は受講案内を、有料講座の場合は受講料振込と受講案内をお送りします。

#### (2) 郵便申込

##### 1) 無料講座

申込受付開始後に往復はがきで、往信面の裏に①講座名、②郵便番号、③住所、④お名前（ふりがな）、⑤電話番号、⑥メールアドレス、⑦高校名・学年（高校生の場合）を、返信面の表に受講される方の郵便番号、住所、お名前をご記入の上、お申し込みください。

申込締切後、返信はがきで受講案内をお送りします。

(返信)	(往信面の裏)
○	①講座名
○	②郵便番号
○	③住所
○	④名前
○	ふりがな
様	⑤電話番号
	⑥メールアドレス
	⑦高校名・学年

##### 2) 有料講座

申込受付開始後に封書でお申し込みください。①講座名、②郵便番号、③住所、④お名前（ふりがな）、⑤電話番号、⑥高校名・学年（高校生の場合）を記入した用紙（様式自由）と、⑦切手を貼り宛先を記入した返信用封筒をお送りください。申込締切後、受講料振込と受講案内をお送りします。

郵便申込の送付先：

〒734-8558 広島市南区宇品東 1-1-71

県立広島大学 地域連携センター「○○○○」講座係

(同時期に複数の講座を募集していることもあります。○○○○の中には講座名をお書きください。講座ごとに別々にお申し込みください。)

### 2. 申込先が連携先（他機関）の場合

申込先が連携先（他機関）の場合は連携先で申込受付を行っており、本学では申込受付を行いませんので、ご注意ください。詳細はチラシやホームページでご確認の上、申込受付開始後に当該機関へお申し込みください。

問合せ先：県立広島大学 広島キャンパス地域連携センター

電話：082-251-9534（平日 9:00-12:00／13:00-17:00）

メール：kouza@pu-hiroshima.ac.jp

## 《申込方法：庄原地域連携センター開講講座》

### 1. 申込先が本学の場合

各公開講座の案内に従ってWEB申込でお申し込みください。

#### WEB申込

本学ホームページに掲載されている公開講座の案内の「申込方法」に、「申込フォーム」のURL及びQRコードがありますので、アクセスして申込フォームに入力して申し込んでください。

申込締切後、無料講座の場合は受講案内を、有料講座の場合は受講料振込と受講案内をお送りします。

### 2. 申込先が連携先（他機関）の場合

申込先が連携先（他機関）の場合は連携先で申込受付を行っており、本学では申込受付を行いませんので、ご注意ください。詳細はチラシやホームページでご確認の上、申込受付開始後に当該機関へお申し込みください。

問合先：県立広島大学 庄原地域連携センター

電話：0824-74-1000（平日 9:00-12:00／13:00-17:00）

メール：gakujutu@pu-hiroshima.ac.jp

## 《申 込 方 法：三原地域連携センター開講講座》

### 1. 申込先が本学の場合

各公開講座の案内に従ってWEB申込または郵便申込のいずれかでお申し込みください。郵便申込の場合、郵便の往復に日数がかかるため、申込締切がWEB申込より早い場合があります。

#### (1) WEB申込

本学ホームページに掲載されている公開講座の案内の「申込方法」に、「申込フォーム」のURL及びQRコードがありますので、アクセスして申込フォームに入力して申し込んでください。

申込締切後、有料講座の場合は受講料振込と受講案内をお送りします。無料講座の場合は、先着順です。定員超過等で受講できない場合、別途ご連絡します。

#### (2) 郵便申込

##### 1) 無料講座

申込受付開始後に 下記内容をご記入の上、E-mail、ハガキのいずれかの方法でお申し込みください。お電話でのお申し込みは受け付けておりませんのでご了承ください。

(ア) 講座名

(イ) 住 所 (郵便番号含む)

(ウ) 氏 名 (ふりがな)

(エ) 職 業 (学生の方は学年)

(オ) 連絡先 (TEL、FAX、携帯電話番号、E-mail アドレス)

##### 2) 有料講座

申込受付開始後に封書でお申し込みください。①講座名、②郵便番号、③住所、④お名前 (ふりがな)、⑤電話番号、⑥職種及び所属先を記入した用紙 (様式自由) と、⑦切手を貼り宛先を記入した返信用封筒をお送りください。申込締切後、受講料振込と受講案内をお送りします。

郵便申込の送付先：

〒723-0053 広島県三原市学園町1番1号

県立広島大学 三原地域連携センター「〇〇〇〇」講座係

(同時期に複数の講座を募集していることもあります。〇〇〇〇の中には講座名をお書きください。講座ごとに別々にお申し込みください。)

### 2. 申込先が連携先 (他機関) の場合

申込先が連携先 (他機関) の場合は連携先で申込受付を行っており、本学では申込受付を行いませんので、ご注意ください。詳細はチラシやホームページでご確認の上、申込受付開始後に当該機関へお申し込みください。

問合先：県立広島大学 三原地域連携センター

電 話：0848-60-1120 (平日 9:00-12:00/13:00-17:00)

メール：mrenkei@pu-hiroshima.ac.jp

## 《台風等非常時における公開講座の中止等の対応について》

台風等の非常時には受講者の皆さまの安心・安全のために公開講座を中止することがありますので、ご了承ください。広島・庄原・三原地域連携センター開講講座の取扱いの概要は以下のとおりです。

詳細については、広島・庄原・三原の地域特性により取扱いが異なる部分もありますので、各講座の問合先でご確認ください。

### 【広島キャンパス】

#### (1) 講座開始前の中止

講座開始2時間前～講座開始の時点で次の事由が発生している場合には、公開講座の開催を中止します。

##### ① 気象警報発令に伴う中止

- ・気象庁から講座会場の所在市町に「暴風警報」、「大雪警報」、「暴風雪警報」、「特別警報」、「津波警報」又は「大津波警報」のいずれかが発令された場合
- ・気象庁から講座会場の所在市町に「大雨警報」と「洪水警報」の両方が発令された場合
- ・自治体から会場のある地区に「避難指示」（警戒レベル4）以上が発令された場合

##### ② 公共交通機関の運休に伴う中止

- ・広島電鉄の電車（1・3・5号線）・バス（12号線（戸坂～仁保方面））及び「都市循環線（まちなわのループ）・広島みなと新線」（301・302・311・312・341・342号線）のすべてが運行を停止した場合（運行停止が発表された場合を含む。）
- ・JR広島駅発着の鉄道全路線のすべてが運行を停止した場合（運行停止が発表された場合を含む。）

##### ③ 地震の発生に伴う中止

- ・講座会場の所在地区において「震度5強」以上の地震が発生した場合

#### (2) 講座開始後の中止

講座開始後に上記(1)①～③の講座中止事由が発生した場合には、その時点で講座継続を中止します。

※会場が広島市内の場合、JRの運行停止についても情報提供します（途中退席可）。

#### (3) 有料公開講座の受講料の返還

上記（1）①～③により有料の公開講座が中止と場合には、受講料のうち中止となった講座相当分を返還します。この場合には該当者に別途メール又は郵便でお知らせします。

## 【庄原キャンパス】

### 1. 気象警報等の発令、公共交通機関の運行停止による講座中止等の対応

#### (1) 講座開始前の中止

講座開始時刻の 2 時間前の時点で、又は講座開始時刻の 2 時間前以降であっても、次のいずれかの事由が発生している場合には講座開催を中止することとする。受講者には事前に送付する「受講案内」にこの講座中止事由を記載して周知する。

#### ア 暴風警報等の発令に伴う中止

- (ア) 気象庁から「特別警報」(「〇〇特別警報」)が発令された時点で講座は中止する。
- (イ) 気象庁から「大雨警報」と「暴風警報」が同時に発令された時点で講座は中止する。
- (ウ) 気象庁から「暴風雪警報」、「大雪警報」のいずれかが発令された時点で講座は中止する。

#### イ 避難指示の発令に伴う中止

(ア) 会場のある地区に「避難指示」(警戒レベル 4 以上)が自治体から発令された時点で講座は中止する。

#### ウ 地震の発生に伴う中止

(ア) 会場のある地区において「震度 5 強」以上の地震が発生した場合、講座は中止する。

#### エ 公共交通機関の運休に伴う中止

(ア) 会場が庄原市内の場合：市内のバス路線(高速バスも含む)、JR がいずれも運行停止になることが予告されている場合は、講座開催を中止する。

(イ) 備北交通路線バス県大線が運行停止、運行停止が予告されている場合は、講座開催を中止する。

#### (2) 講座開始後の対応

講座開始後であっても、上記(1)ア～エの講座中止事由が発生したときは、その時点で受講者に情報提供のうえ、講座を中止する。

上記(1)エの公共交通機関のいずれかの運行停止の予告が発表された場合は、その時点で受講者に情報提供のうえ、途中退席を認める。

#### (3) その他

非常事態の発生においては状況によっては中止する場合がある。

### 2. 急病人への対応

- (1) 講座中に急病人が出た場合は、本人に病状を確認の上、救急搬送の手配、家族への連絡等を行う。本人に意識がないときはただちに救急搬送の手配をする。
- (2) 対応中は講座を中断し、対応終了後に講座を続行する。対応終了後の講座継続が困難な場合には、その時点で講座を中止する。

### 3. 講座中止の決定

- (1) 講座中止の決定は、上記 1 及び 2 の講座中止事由の発生有無により、実施責任者(地域連携センター長)が行う。ただし、会場での緊急対応は、実施業務の担当者又は受託者が適宜行い、対応結果を速やかに実施責任者に報告する。
- (2) 連携公開講座についても、連携先と事前協議のうえ、同様に対応する。

#### 4. 有料講座の受講料の返還

- (1) 上記1(1)の場合、当該講座を別の日に開講（補講）するときを除き、受領した受講料の当該講座相当分（複数回に亘る場合は按分）を受講者に返還することとし、その旨を受講者に通知する。  
この場合、返還は受講料の送金口座への振り込みで行い、振込手数料は本学が負担する。
- (2) 上記1(1)以外の場合は、大学側事由による講座の中止、その他返還すべき理由があるときを除いて返還しない。

## 【三原キャンパス】

### 1 気象警報の発令、公共交通機関の運行停止による講座中止等の対応

#### (1) 講座開始前の中止

講座開始時刻の2時間前の時点で、又は講座開始時刻の2時間前以降であっても、次のいずれかの事由が発生している場合には講座開催を中止することとする。受講者には事前に送付する「受講案内」にこの講座中止事由を記載して周知する。

#### ア 気象警報発令に伴う中止

(ア) 気象庁から講座会場の所在市町に「特別警報」、「暴風警報」が発令された場合

(イ) 自治体から会場のある地区に「避難指示」(警戒レベル4)以上が発令された場合

#### イ 公共交通機関の運休に伴う中止

(ア) JR山陽本線又はJR山陽新幹線の三原駅を含む区間、芸陽バス頼兼線に運転見合わせが見込まれる場合

(イ) 会場が広島市内の場合：広島電鉄(株)の広島市内の電車・バス路線及び広島バス(株)の広島市内のバス路線がいずれも運行停止になることが予告されている場合

#### ウ 地震の発生に伴う中止

講座会場の所在地区において「震度5強」以上の地震が発生した場合

#### (2) 講座開始後の対応

講座開始後であっても、上記(1)ア～ウの講座中止事由が発生したときは、その時点で受講者に情報提供のうえ、講座を中止する。

上記(1)イの公共交通機関のいずれかの運行停止の予告が発表された場合は、その時点で受講者に情報提供のうえ、途中退席を認める。(※JRの運行停止についても情報収集し、受講者に情報提供する。)

### 2 急病人への対応

(1) 講座中に急病人が出た場合は、本人に病状を確認の上、救急搬送の手配等を行う。本人に意識がないときはただちに救急搬送の手配をする。

(2) 対応中は講座を中断し、対応終了後に講座を続行する。対応終了後の講座継続が困難な場合にはその時点で講座を中止する。

### 3 講座中止の決定

(1) 講座中止の決定は、上記1及び2の講座中止事由の発生有無により、三原地域連携センター長が行う。ただし、会場での緊急対応は、実施業務の担当者又は担当教員が適宜行い、対応結果を速やかに報告する。また、最終的な対応結果を速やかに実施責任者(地域連携センター長)へ報告する。

(2) 連携公開講座についても、連携先と事前協議のうえ、同様に対応する。

(3) 台風等の接近に伴い、その他緊急事態が発生しそうな場合、講座の実施に支障があると認められる場合は、担当教員と三原地域連携センター長とが、開催日の前々日までに協議し、前日の朝に開催の有無を決定する。中止の場合は速やかに受講生へ連絡する。

#### 4 有料講座の受講料の返還

- (1) 上記1(1)の場合、当該講座を別の日に開講（補講）するときを除き、受領した受講料の当該講座相当分（複数回に亘る場合は按分）を受講者に返還することとし、その旨を受講者に通知する。この場合、返還は受講料の送金口座への振り込みで行い、振込手数料は本学が負担する。
- (2) 上記1(1)以外の場合は、大学側事由による講座の中止、その他返還すべき理由があるときを除いて返還しない。

## 《公開講座における新型コロナウイルス感染拡大予防の対応について》

県立広島大学 地域連携センター

県立広島大学地域連携センターの公開講座・連携公開講座を開講するにあたり、新型コロナウイルスの感染拡大予防に関する対応をお知らせします。

### 1 受講者の皆さまへご連絡とお願い

- (1) 講座の受講にあたって、マスクの着用は個人の判断に委ねます。
- (2) 飛沫感染を防ぐために、受講者間の会話はできるだけ小さな声で、短時間のうちに済ませるようお願いします。
- (3) 咳やくしゃみの際には、咳エチケットにご留意ください。
- (4) 次のような症状がある場合は出席をご遠慮ください。
  - ・ 37.5 度以上の熱がある場合
  - ・ 咳、くしゃみなどの 風邪症状がある場合
  - ・ だるさや息苦しさなど、 普段と体調が違うと感ずる場合

### 2 大学の対応

- (1) 教室内で共用の物品や頻繁に接触するドアノブ等はこまめに消毒します。
- (2) 講義休憩中は、窓の開放など室内の換気を実施しますので、ご了承ください。  
この他、大学のホームページで最新の情報を更新しておりますのでご確認ください。

### 3 公開講座の中止または延期

新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、やむを得ず、公開講座を中止または延期する場合があります。

## 《アクセス情報》

県立広島大学 広島・庄原・三原キャンパス

参照 URL : <https://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/47/access.html>



### 広島キャンパス [大学本部]



〒734-8558 広島県広島市南区宇品東一丁目1番71号  
TEL.082-251-5178代



#### アクセス

##### JR広島駅から

###### 【バス】

- 「JR広島駅(南口)」→JR広島駅7番乗り場から次のいずれかのバスに乗車(約20~25分)
- 302号線(右回り) / 「県立広島大学前」下車後すぐ
- 312号線 / 「県立広島大学前」下車→徒歩3分
- 342号線 / 「県病院前」下車→徒歩2分

###### 【市内電車】

- 「JR広島駅(南口)」→「5号線(広島港行き)」に乗車(約20分)→「県病院前」下車→徒歩7分

###### 【自転車】

約20分

##### バスセンター(紙屋町)から

###### 【市内電車】

- 「紙屋町西」または「紙屋町東」→「1号線(広島港行き)」または「3号線(広島港行きまたは宇品二丁目行き)」に乗車(約20分)→「県病院前」下車→徒歩7分

##### 八丁堀(ヤマダ電機前)から

###### 【バス】

- 「八丁堀」→「12号線」に乗車(約20分)→「県立広島大学前(広島キャンパス)」下車→徒歩1分

### 庄原キャンパス



〒727-0023 広島県庄原市七塚町5562番地  
TEL.0824-74-1000代



#### アクセス

##### 高速道路

- 広島I.C.~三次東I.C. … 81.5km(約1時間)
- 尾道I.C.~三次東I.C. … 70.6km(約1時間20分)
- ※三次東I.C.から約15分

##### 高速バス

- 「広島バスセンター」→「三次・庄原・東城方面行きバス」(約1時間50分)→「庄原駅バス停」または「県立広島大学」下車
- ※「三次・庄原・東城方面行き」については「広島バスセンター」を6時20分、8時45分発の便については「県立広島大学庄原キャンパス行き」があります(約2時間)
- (2022年5月現在)

##### JR

- 「JR広島駅」→「芸備線(志和口・三次方面)」→「JR備後庄原駅」で下車(約2時間)

##### JR備後庄原駅バス停~庄原キャンパス

- JR備後庄原駅バス停から備北交通「県立広島大学行き」に乗車(約21分)、「県立大学バスロータリー」(終点)下車

### 三原キャンパス



〒723-0053 広島県三原市学園町1番1号  
TEL.0848-60-1120代



#### アクセス

##### 高速道路

- 広島I.C.~本郷I.C.
- ※本郷I.C.から約20分(広島市内から約1時間5分)
- 岡山I.C.~福山西I.C.
- ※福山西I.C.から約30分(岡山市内から約1時間30分)

##### JR

###### 【新幹線】

- 「JR広島駅」→山陽新幹線こだま号(約30分)→「JR三原駅」で下車
- 「JR岡山駅」→山陽新幹線こだま号(約45分)→「JR三原駅」で下車

###### 【在来線】

- 山陽本線「JR三原駅」で下車

##### JR三原駅~三原キャンパス

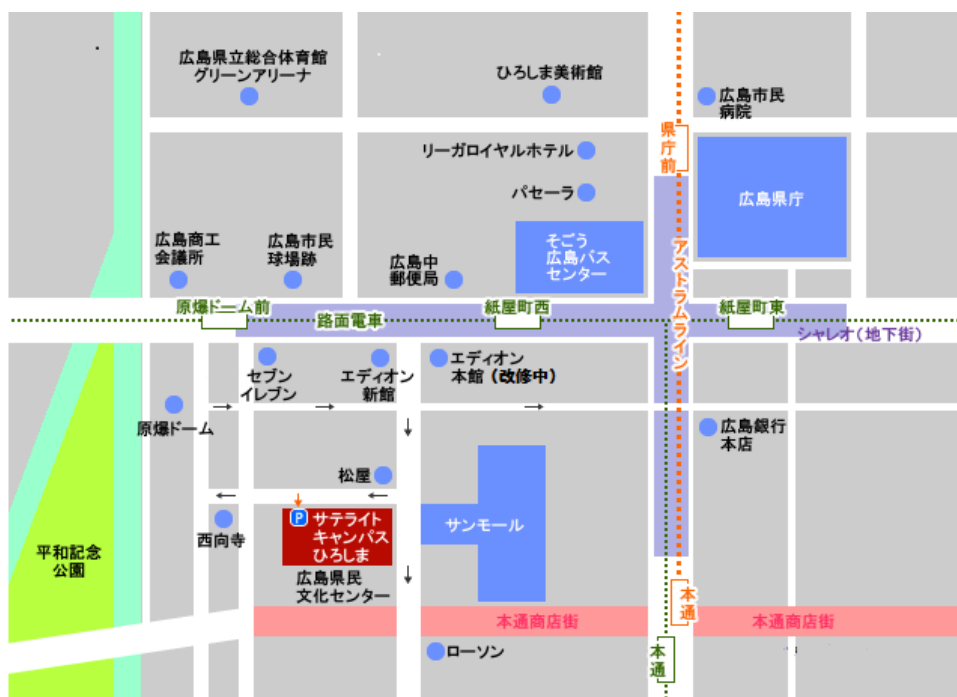
- JR三原駅南口バス5番乗り場から芸備バス「頼兼線」に乗り(約15分)、「県立広島大学」(終点)下車

#### 4. サテライトキャンパスひろしま

〒730-0051 広島市中区大手町1丁目5-3 (広島県民文化センター5・6階)



参照 URL: <https://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/satellite/accessmap.html>



※ 会場が上記以外となっている講座の会場アクセスは、申込先でご確認ください。



## お問い合わせ先

### 県立広島大学 地域連携センター

〒734-8558 広島市南区宇品東一丁目1番71号

電話 082-251-9534 (ダイヤル)

E-mail [kouza@pu-hiroshima.ac.jp](mailto:kouza@pu-hiroshima.ac.jp)

### 県立広島大学 庄原地域連携センター

〒727-0023 庄原市七塚町5562番地

電話 0824-74-1000 (代表)

E-mail [gakujutu@pu-hiroshima.ac.jp](mailto:gakujutu@pu-hiroshima.ac.jp)

### 県立広島大学 三原地域連携センター

〒723-0053 三原市学園町1番1号

電話 0848-60-1120 (ダイヤル)

E-mail [mrenkei@pu-hiroshima.ac.jp](mailto:mrenkei@pu-hiroshima.ac.jp)